**利用課題名**

英文利用課題名

量研　大翔1)　　　　　量研　葵2)

Hiroto RYOKEN　　 　 　Aoi RYOKEN

1)○○大学　　2)量研

（概要）

キーワード：

　（1行あける）

１．目的

２．方法

３．結果及び考察

４．引用(参照)文献等

**以下の項目について必ず記入してください。**（公開されません）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **実施報告書提出日** | 年　　月　　日 | 提出期限は原則5月30日必着です。 |
| **研究代表者** | 氏名　　　　　　　　　（所属　　　　　　　　　　　　） |
| **利用施設** | 施設 | 装置（ビームポート、ライン名等） |
|  |  |
| **成果公表の予定** | 供用施設を利用した年度の翌年度の4月1日から起算して２年以内に論文発表等で成果を公表し、公表後速やかに「成果公表連絡票」により発表資料等の写しを添えて報告してください。定められた期間内に成果が公表されなかった場合は、成果非公開課題の利用料金が適用され、お支払済みの利用料金との差額をお支払いいただきます。また、今後の利用課題の採択及び利用時間の配分を決定する際に重要な判断基準となりますので、ご承知おき願います。 |
|  | 発表形式(該当を○で囲む) | 原著論文、総説、プロシーディングス、書籍、雑誌、社内報、学会、研究会、セミナー、シンポジウム、講演会、報告会、プレス発表、特許出願等 |
| 誌名/講演会名 |  |
| 投稿/発表時期(該当を○で囲む) | 3ヶ月以内　 6ヶ月以内　 1年以内　 2年以内　 発表の予定が立たない |
| 発表の予定が立たない場合はその理由と今後の計画 | 例：「論文になる十分な結果が得られなかったため再実験を行う予定」,「複数回の実験が必要で次回の課題終了後に発表予定。」等 |
|  |
| 公表にあたって | 本研究を論文発表等で成果を公開する場合は、論文等に「量子科学技術研究開発機構の施設供用制度」にて行ったことを明記してください。英文の場合は、以下を参考にしてください。This work was performed under the Shared Use Program of QST Facilities. |
| **学位論文等の件数** | 量研の施設供用制度をより一層発展・充実させるためには、供用施設を用いて行われた研究成果が科学技術発展への寄与や成果の社会への還元が図られていること、そして施設供用が量子科学技術の人材育成に寄与していること等を、外部に向けて発信することが求められています。そのため供用施設を用いて行われた研究に係る学位論文等の件数が重要な指標の一つとなりますので、該当がある場合は以下にご記入願います。

|  |  |
| --- | --- |
| 集計期間\* | 令和＿年4月～令和＿年3月 |
| 学位論文（博士） | 件 |
| 学位論文（修士） | 件 |
| 学位論文（学士） | 件 |
| 学術論文 | 件 |

\* 集計期間は、施設供用が行われた年度の1年間 |